国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

Japan. Endless Discovery.

平成 28 年 12 月 14 日

九 州 運 輸 局
九州地方整備局
大 阪 航 空 局

「訪日外国人旅行者の受入に向けた九州ブロック連絡会」の開催

今般、下記にて本連絡会を開催しますので、お知らせ致します。

九州運輸局及び九州地方整備局並びに大阪航空局では、増加する訪日外国人旅行者の受入体制を迅速に整備するべく、平成 27 年 3 月より「訪日外国人旅行者の受入に向けた九州ブロック連絡会」を設置して取組んで参りました。

今回の連絡会においては、二次交通対策や宿泊施設のインバウンド対応などの各種課題について、各自治体、関係事業者等の協力を得て受入環境の改善が進み、観光施設等の多言語化や無料公衆無線 LAN(Wi-Fi)の整備などの成果を報告することとしています。

なお、来年以降も継続的に進捗状況、改善状況を確認しつつ、新たな課題への対応を含め、状況把握、課題解決を実施することと致しております。

記

1. 日　　時　　平成 28 年 12 月 15 日(木)　13:30～15:30
2. 場　　所　　九州運輸局　7 階海技試験場
　　福岡市博多区博多駅東 2-11-1　福岡合同庁舎新館
3. 主な構成員　　九州運輸局、九州地方整備局、大阪航空局、九州各県、政令指定都市、経済団体、九州観光推進機構、関係事業者・団体(交通・旅行・宿泊)
4. 主な議題等　　別添のとおり
5. そ　の　他　　本連絡会は、公開・カメラ撮り可と致します。
　　取材を希望される場合は、会場等の準備のため、あらかじめご連絡をお願いします。

＜お問い合わせ＞
九州運輸局　観光部　：嘉村、薄墨　TEL：092-472-2330
九州地方整備局　企画部　：古木、中村　TEL：092-476-3542
大阪航空局 福岡空港事務所：伊藤　TEL：092-621-2221

訪日外国人旅行者の受入に向けた九州ブロック連絡会

国土交通省

○ アジア地域に近接した「ゲートウェイ九州」のポテンシャルを活かし、外国人旅行者の受入環境整備の課題解決に向け、国・自治体・民間が連携。
○ 平成27年3月25日第1回連絡会を開催し、4WGを設置するとともに25課題を設定。WGを3回開催し重点課題10項目を絞り込み、集中的に審議を進め平成27年12月24日の第2回連絡会において最終取りまとめを行った。
○ 平成28年度では、当該連絡会をフォローアップし、第2回WGにおいて新規案件7課題を加え、32課題を抽出し中間とりまとめを行った。さらには、第3回WG及び第4回WG（文書）において16課題を追加し、**合計48課題**（内、深堀案件5課題）を抽出した。また、本年度は、WGを活用して訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業の事業実施計画に対する了承機関としての役割を担っている。

＜連絡会の体制＞国交省九州3局(九州運輸局、九州地方整備局、大阪航空局)を事務局に、九州7県及び政令市、経済団体・観光2団体、交通事業者、旅行・宿泊事業者団体で構成

外国人旅行者が安全・安心して旅行できる受入環境

■1. 航空・港湾WG （8課題）

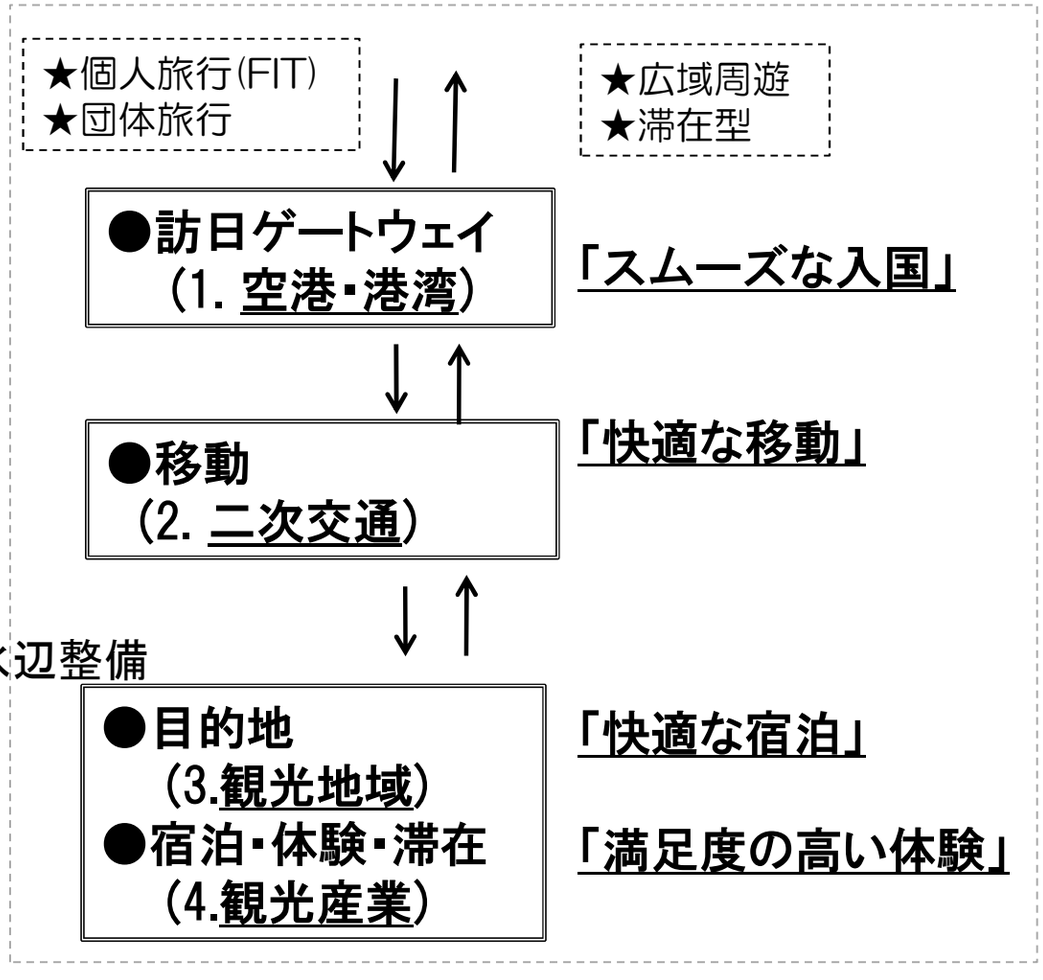
1）空港容量（発着回数）・航空座席数の確保　2）クルーズ船の寄港増・大型化に対応した受入環境の改善　3）空港・港におけるCIQ要員の確保
4）空港におけるCIQスペースの確保　など

■2. 二次交通WG （15課題）

1）公共交通機関、道路における多言語対応の強化　2）都市回遊性向上
3）地方部の二次交通促進　4）広域二次交通円滑化
5）観光地の渋滞対策　6）特定道路における歩道バリアフリー化　など

■3. 観光地域づくりWG （20課題）

1）観光地や観光施設における無料公衆無線LAN環境（Wi－Fi）の整備
2）大都市観光サービス向上（観光案内所）
3）国営公園における多言語化、Wi-Fi環境整備　4）観光地の無電柱化
5）「道の駅」での無料公衆無線LANの提供　6）地域観光資源を活かした水辺整備
7）河川敷を利用した世界的イベントに配慮した河川整備　など

■4. 観光産業WG （5課題）

1）宿泊施設の確保
2）宿泊施設はじめ関係事業者へのおもてなし意識の浸透
3）熊本地震後のインバウンド観光客の誘導・情報提供　など